

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		16-	1
事業名	保育園運営費	会計	款	項	目
		一般	3	2	3
政策	2 次世代を育むために	課名	学校教育課		
施策	2-1 子育て支援の充実	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	乳児、幼児期の子育て中の保護者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	安心して子育て支援、保育サービスを利用する。
事業内容	①〔会計年度任用職員報酬〕充実した子育て支援及び園運営ができるよう会計年度任用職員を適材適所で任用する。 ②〔病児保育支援事業負担金〕突発的な病気で園が預かれない子どもを桑名市と提携し市内医療機関で一時的に預かる。 ③〔一時保育園児傷害保険負担金〕未就園児の一時的な保育をみなみ保育園で実施する。 ④〔一般消耗品費〕子どもが伸び伸びと使える折り紙や画用紙代を保護者負担にせず保障する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1	年度当初の保育園待機児童数	7	12	26	人		0	
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和3年度 (決算)		令和4年度 (決算)		令和5年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			83,341		76,348		94,530		
財源内訳	直接事業費 A		79,975		69,256		87,282		
	うち一般財源		25,490		14,863		36,159		
人件費 (千円) B			3,366		7,092		7,248		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.03		198		0.61		4026
	臨時職員 (人・千円)		1.76		3,168		1.79		3,222

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	利用者が増加し、今後も待機児童が出る可能性がある、私立保育所の活用や現在ある施設の増改築を検討していく。	③取組の課題	保育園の利用者が増加し、次年度も待機児童が出る見込み。保育士の確保には大きな課題があること、施設の限界に近い。
②R4年度に実施した取り組み	新型コロナウイルス感染対策を徹底しつつ、安心して仕事と子育てが両立出来る環境での保育運営を行なった。	④今後の改善計画	利用者が増加し、今後も待機児童が出る見込み。保育士の確保と同時に、民間の活用や現在ある施設の増改築を教育総務課とともに検討していく。